



第7回  
よねやま ちひろ  
**米山 千尋 さん**  
ドコカノ market 代表  
ひとつなぎ伊豆の国。 所属



**みんなが楽しめる  
場を手作りしたい**

観光のまちづくりに取り組む団体『ひとつなぎ伊豆の国』のメンバーであり、ハンドメイドマルシェ(手作り品の即売市)を企画・運営する米山さん。半年に一度、葦山反射炉で開催される『手作りマーケット』や、毎月、葦山時代劇場で開催される『ひだまりマーケット』の中心には、いつも彼女の姿があります。もともとは趣味で消しゴムはんこを作っていただけの米山さんが出店を始めたのは、ママ友に誘われたのがきっかけでした。しかし、マルシェ

の楽しさに目覚めたところ、コロナ禍で出店していたイベントがほとんど中止に。米山さんは、「自分の手で行うことはできないか」と模索した末、休止中だった『手作りマーケット』を復活させることにしました。『手作りマーケット』では、幅広い年齢の人たちが思い思いに楽しんでいます。米山さんが大切にしているのは、この『みんなが楽しめる場』を作ること。「小さい子どもがいる親も、手芸が趣味のお年寄りも、誰もが主役になれるんです」。出店者やお客さんから「よかったです」「次はいつ?」などと声を掛けられることが何より励みになると、米山さんは言います。3児の母である彼女は、子育てに、仕事に、そしてマルシェの企画にいつも全力で臨みます。生まれも育ちも葦山の米山さんは、子どもは、のびのびとした環境がある地元で育てたいと言います。彼女にとって伊豆の国市は、「人生の全てであり、生きる場所」だそうです。あなたも、『みんなが楽しめる』マルシェに出かけて、手作りの温かさを感じてみてはどうでしょうか(12月のひだまりマーケットについては15ページをご覧ください)。

**かんたん手話講座 ③2**

**久しぶり**

「久しぶり」の手話は、軽く曲げた手の甲を合わせてから左右に離します。再会できたうれしい気持ちが伝わるように、ゆっくり丁寧に、笑顔で表現しましょう。



障がい福祉課  
☎ 0558-76-8007 FAX 0558-76-8029

「手話奉仕員養成講座」を受講している皆さんが9月で入門課程を終えました。引き続き基礎課程で手話の基本文法を学んでいます。来年度も開講予定なので、興味のある人は来年度の広報4月号で情報をチェックしてお申込みください!

連載  
**ジャルガルの  
ほのぼの日記**

第57回  
モンゴル化計画を紹介!



皆さん、サエンバエノー。寒さも本格的になってきましたが、皆さんお変わりなくお過ごしでしょうか。最近、故郷モンゴルの文化を紹介できる機会が増えてきました。夏の伊豆の国ふるさと博覧会『モンゴル文化に触れてみよう』に続き、10月29日・30日に行われた『ジャパン・マウンテンバイク・カップ』の会場である日本サイクルスポーツセンターでも、ゲルを設置し、モンゴルの文化や日本との交流について紹介しました。そして、11月6日には、葦山反射炉ガイダンスセンターで開催された『手作りマーケット』

とコラボし、反射炉自然公園で伊豆の国ふるさと博覧会『モンゴル化計画』を開催しました。ゲルの設置や民族衣装の試着のほか、伊豆の国うま広場による引き馬体験などを行い、反射炉自然公園はプチモンゴルに大変身。市内外からたくさんのお客さんにお越しいただき、モンゴルを感じていただきました。今回は、そんなイベントの様子を写真で皆さんにご紹介します。また市内のどこかをモンゴル化したいですね。それでは、バイアルタエ。

☎ 055(948)1412  
協働まちづくり課



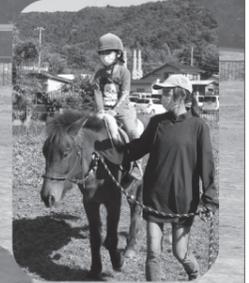
モリンホールの演奏



モンゴル民族衣装の試着



イベント参加者の皆さん



引き馬体験

「ゲル」は、モンゴル語で家を意味します。中国では包と言うそうで、トルコ系遊牧民のユルタは同様の構造ですが、天井部がドーム形をしています。